

責任者 実者 敏員
正任者 勝川 編
行集責 石川 他
古編集 他編集
石編集 他編集
4名

SEOS便り

アプアプ赤札堂 上野店

アプアプ赤札堂は我が社と同じ小泉グループの企業で、スーパーマーケットとファッション専門店の二つの事業を基本戦略とし、首都圏を中心に店舗を展開しています。上野店は若者を中心としたファッション専門店で、AGS・GMCがそれぞれ警備と清掃の仕事を請け負っています。従事者は警備員二名、清掃員十一名の方が働いています。今回は岩瀬警備士と清掃担当の長谷川主任にお話を伺いました。



警備担当
岩瀬 警備士

岩瀬警備士は入社以来からアプアプ赤札堂上野店で勤務しています。そして体調を崩して休んだことが一度もないことが自慢です。何でも入社当時上司から「体調が悪く仕事を休む時は一度現場に来てから上司が判断する」と言われたそうで、その言葉が心に響いて今でも元気に業務に励んでいます。なかなか体調を崩さないことは難しいことと、体調管理に非常に気を使っているなど感心しました。

また同じ現場ですと勤務しているのと、その現場に愛着が湧いたり、店員とのコミュニケーションもよく取れるとのことでした。岩瀬警備士は定年まであとわずかということで、これからも元気に頑張っていたきたいと思っています。



清掃担当
長谷川主任と井上さん

アプアプ赤札堂上野店へ取材のため訪れると、すぐそばで壁面を清掃している長谷川主任がいらっしゃいました。業務の合間を縫って早速取材させて頂きました。普段は館内の全フロアの床面や階段、トイレなどの清掃をしています。特に気を付けていることはお客様に失礼がないようにすることと、雨の日などは店内の床が濡れないようにマットを出したりしているそうです。特に力を入れて掃除しているところは正面入り口で、やはり人が一番出入りする場所なので綺麗にするように保っているとのことでした。これからの時期は暑くなり、お客様の出入りも激しくなり大変かと思えますが、お体には気を付けて仕事に励んでいただきたいと思います。

TIXTOWER上野

上野駅より徒歩5分程に、ビル全体が鏡張りのように美しくそびえ立っているTIXTOWER上野。一〜二階が店舗になっており、三〜十六階がオフィス、十七、十八階が住居になっています。こちらではAGSの常駐警備の仕事を請け負っており、今回は那波警備士にお話を伺いました。

TIXTOWER上野では主に監視カメラによる監視や出入管理、巡回を行っています。業務中気を使っていることとして、監視はカメラを通じた間接的なものなので利用者・入居者の方との仕事上の接触は少なく、その分どういった印象を与えているのか分りにくいので、常に丁寧な対応を心掛けています。特にテナントからの問い合わせでは最初に対応する場合がありますので、メリハリをつけて対応をしています。

また年に一度テナント全体の防災訓練があり、その時も防災センター要員としての役割も担っている為、警備だけでなく防災センターの一員という意識を常に持って勤務しています。

那波警備士の警備員としての意識は勿論のこと、現場の一人でもあるんだという素晴らしさ、心構えに感銘致しました。今後も頑張りたいと思います。



那波 警備士

安全衛生委員会より

今年もまた暑い夏がやってきます。昨年同様、原発事故による電力不足が懸念されているため、企業も家庭も節電が求められています。そのため熱中症には十分注意しなくてはなりません。昨年のSEOS便りでも周知しましたが、もう一度熱中症について次の点に気を付けましょう。

体調管理：寝不足、二日酔いなどは熱中症を引き起こしやすくなります。日頃から体調管理に気を付けて、具合が悪い時は無理をせず、上長に報告し指示を仰ぎましょう。

水分補給：これは皆さん気を付けて頂いていると思いますが、喉が渇いた時にはかなりの水分が不足しています。定期的な水分補給を心掛けましょう。

年齢を考慮する：年を重ねるにつれ、体力は衰えてきます。体力に自信があっても、年齢を考慮して無理はしないことです。熱中症は三十代〜五十代くらいの方が発症するケースが多いので、特にこの年代の方は気を付けて下さい。

また熱中症の症状として、めまい、失神、頭痛、吐き気、意識障害、痙攣などがあります。もし業務中にこれらの症状が表れた場合は、すぐに涼しい場所へ避難して体を冷やし、水分補給をさせましょう。症状が重い場合はすぐに救急車を呼びましょう。

昨年は皆さん気を付けていただいたようで、業務中による熱中症報告はありませんでした。今年も注意して夏を乗り切りましょう。



防災訓練

東日本大震災以降、当社では防災訓練を月に一度行うようになりました。また今年の4月から実際に大震災が起こったことを想定し、災害対策本部立ち上げまでの訓練を行っています。



対策本部の様子



管理本部員による無線機を用いて各支社及び機動車両との安否確認を行っている様子

4月に初めて対策本部を立ち上げた訓練では、安否確認の方法から支社とのやり取りに皆戸惑いながら行っていました。それから5月、6月と訓練していく内に、安否確認表や交通機関運行情報表の作成、更に管理本部員による無線機のやり取りまで行うようになりました。

まだまだ反省点が多く、実際の震災時に適応出来るレベルではありませんが、今後も訓練を継続して行い、支社・営業所も含めて会社全体でより良い防災訓練に取り組んで参りたいと思います。



安否確認表に安否の連絡が何人取れたかなど的人数を記入しています

管理監督者研修

管理監督者研修とは、次世代を担う基幹社員候補生を選抜し、社会人、企業人としての基本知識の付与及び組織運営に必要とされるスキルの向上を図ることに、組織力の強化を目指すために4月から行われています。5月、6月は基礎知識編、7月以降は本格的に技能教育編となり、各チームに沿って班ごととに討論を重ね、発表します。このような研修を重ねることにより、各人のスキルアップについては会社の実力をアップさせる絶好の機会となるよう期待しています。



本社7Fで行われている管理監督者研修

表彰

東京ビルメンテナンス協会が創立五十周年を迎えられた際に、GMCが会員として永年にわたり協会の発展に寄与されたとして、感謝状を頂きました。



世紀の天体ショー

平成二十四年五月二十一日午前七時三十分ごろ金環日食が各地で観測されました。皆さんはご覧になりましたか？



撮影
総務人事課長
宮崎 正喜